

2024年7月29日開講！

全社員で学ぶ！ DXリテラシー標準完全ガイド

DXリテラシー標準とは？

全てのビジネスパーソンが身につけるべき能力・スキルの標準として、
経済産業省と情報処理推進機構(IPA)が策定した指針です。
「一人ひとりがDXに関するリテラシーを身につけることで、
DXを自分事ととらえ、変革に向けて行動できるようになる」

引用：デジタルスキル標準ver.1.1 - IPA発表

概要・特徴

1コースでDXリテラシー標準を網羅！！

マインド・スタンス、Why、What、Howすべての項目を学習することができます。

知識＋思考のコース

ただ知識をつけるだけでなく、実際の業務改善にどう適用するか考
えながら学習することで、十分な知識とマインドを取得します。



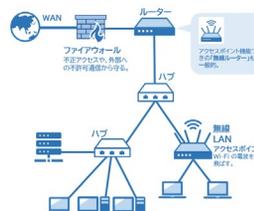
豊富な事例をキャラクターと一緒に理解していく！

「自分事」になるよう、事例やキャラクターを用いて学習します。
文章とイラストや図、そしてクイズにより正しい知識をつけられるように学習を進められます。



イメージ

主なネットワーク機器
複数のコンピュータをネットワークに繋ぐ「ハブ」、LANとWANのようにネットワーク同士を繋ぐ「ルータ」があります。
「インターネットなどのネットワークへの出入り口」の役割を担っているルータをデフォルトゲートウェイといいます。
通信回線にはケーブルで繋ぐ有線と無線があります。
無線LANは「Wi-Fi」という言い方がメジャーですが、これは規格名です(無線LAN規格が相互接続できることを示す無線LAN技術の統一規格)。無線LANは利便性が高いですが、速度や安定性の面では有線LANが優位です。



イメージ



イメージ

- 受講期間：6カ月（+閲覧期間6カ月）
- 価格：¥7,500（税別）

- 標準学習時間：4時間
- チュート：なし

ボリュームディスカウントもご相談ください！

ネットラーニングのeラーニングコースを 「DXリテラシー標準」の学習教材としておススメする理由

専門家監修×ラーニングデザイン

著者・専門家
千葉 俊彦 先生

建設コンサルタント企業にて、都市・交通系エンジニアを皮切りに、新事業開発などの企画畑を歩み、ホールディングス取締役、事業会社代表取締役等を経験

この間、社内講師として新人、幹部、役員向け研修等を実施し、経営全般の教育にも携る。また、横浜国立大学で社会人非常勤講師としてプロジェクトマネジメントを担当。

退任後は経営経験を活かして中小企業診断士資格をとり、経営コンサルタントとして経営改善

ラーニングデザイナー

当社でeラーニング教材製作を専門に手掛けるプロフェッショナルがコース開発に関わっています。

専門家である千葉俊彦先生からご提供いただいた情報を活かし、学習効果を最大化するための工夫が施されたコース設計を実現しています。

カスタマイズ可能

貴社ならではの内容をもり込める

教材の著作権を当社が保有しているため、教材のカスタマイズが可能です。

貴社ならではの……、

- ▶ イントロダクション
- ▶ DX化推進の事例
- ▶ テスト など

を差し込む希望はありませんか？



【カスタマイズ例】

イントロダクションとして、社長からDX推進にこだわる旨のメッセージが記載されたスライドを1枚追加する など

目次

イントロダクション

本コースについて・学習する前に
学習の進め方

第1章 DXリテラシー

第2章 マインド・スタンス

第3章 Why(なぜ、背景は?)

第4章 What(何を使って)/データ

第5章 What(何を使って)/デジタル技術

第6章 How(どのように)

コースレビュー

